

2025年度 授業要項

区分			専門基礎分野	履修学年/学部	第2学年/昼
科目名			解剖学 IV	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			解剖学 客員教授	使用教室	第2柔整普通教室
教員名			江川 薫	講義形式	講義
学習目標と講義概要			生命活動を営むための神経系(中枢神経系、末梢神経系)、感覚器(皮膚、視覚器、聴覚器、味覚器、嗅覚器)について知識を身につけることを目的とする。神経系の総論、神経系の各論(中枢神経系、脳神経系の解剖、脊髄神経系の解剖)、感覚器系の機能、構造、間隔受容器の役割について理解できる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	神経系 A. 神経系の基礎		
2	1	2	神経系 B. 脳 (終脳)		
3	1	2	神経系 B. 脳 (間脳、中脳、橋)		
4	1	2	神経系 B. 脳 (小脳、延髄) C. 脊髄		
5	1	2	神経系 D. 末梢神経 C. 脊髄 2. 伝導路		
6	1	2	神経系 D. 末梢神経 1. 脳神経		
7	1	2	神経系 D. 末梢神経 1. 脳神経		
8	1	2	神経系 D. 末梢神経 2. 脊髄神経		
9	1	2	神経系 D. 末梢神経 2. 脊髄神経		
10	1		神経系 D. 末梢神経 3. 自律神経系		
11	1	2	神経系 D. 末梢神経 3. 自律神経系		
12	1	2	感覚器 B. 視覚器		
13	1	2	感覚器 C. 聴覚器および平衡器		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
解剖学:医歯薬出版					
教員について					
医学博士の学位を有し、大学での臨床経験や他の医療系専門学校での教育経験を活かし授業を行う。					

2025年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/学部	第2学年/昼
科目名	生理学 III		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	歯科医師		使用教室	第2柔整普通教室
教員名	関 伸一郎		講義形式	講義
学習目標と講義概要	神経系、筋肉の機能と身体の機能をまとめる役割を持つ生理学についての知識、高齢者および競技者の生理学的特徴・変化について知識を身につけることを目的とする。神経の基本的機能、脳神経、脊髄神経、自律神経などの神経系の働きについて説明できる。高齢者及び競技者の生理学的特徴・変化について説明できる。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	第3章 神経の生理	
2	1	2	第4章 運動の生理 1	
3	1	2	第4章 運動の生理 2	
4	1	2	第4章 運動の生理 3	
5	1	2	第2章 筋の生理 1	
6	1	2	第2章 筋の生理 2	
7	1	2	第5章 感覚の生理 1	
8	1	2	第5章 感覚の生理 2	
9	1	2	高齢者及び競技者の生理学的特徴・変化 1	
10	1	2	高齢者及び競技者の生理学的特徴・変化 2	
11	1	2	高齢者及び競技者の生理学的特徴・変化 3	
12	1	2	高齢者及び競技者の生理学的特徴・変化 4	
13	1	2	総復習	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
生理学:南江堂				
教員について【実務経験有】				
歯科医師として、歯科医院での実務(臨床)経験を有している。				

2025年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/学部	第2学年/昼
科目名	運動学		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	理療科教員		使用教室	第2柔整普通教室
教員名	川上 恭		講義形式	講義
学習目標と講義概要	人間の運動に関わる正常な構造と機能と運動障害(手指変形、異常歩行など)を引き起こす疾患についての基礎知識を身につけることを目的とする。柔道整復師として必須の知識として、骨・筋・関節・神経、運動器の構造と機能を解剖学的な視点で理解し、運動感覚、四肢と体幹の運動、姿勢、歩行について説明出来るようになる。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	運動の目的、表し方	
2	1	2	身体運動と力学	
3	1	2	運動器の構造と機能 1	
4	1	2	運動器の構造と機能 2	
5	1	2	神経の構造と機能	
6	1	2	運動感覚	
7	1	2	反射と随意運動	
8	1	2	四肢と体幹の運動 1	
9	1	2	四肢と体幹の運動 2	
10	1	2	四肢と体幹の運動 3	
11	1	2	姿勢	
12	1	2	歩行 1	
13	1	2	歩行 2	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
1) 単位認定試験 2) 出席状況(3分の2以上の出席)				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
運動学： 医歯薬出版				
教員について【実務経験有】				
理療科教員資格を有し、治療院での実務(臨床)経験において現場で得た知識経験等を活かし授業を行う。				

2025年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/学部	第2学年/昼
科目名	病理学概論		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	歯科医師		使用教室	第2柔整普通教室
教員名	杉山 文枝		講義形式	講義
学習目標と講義概要			病理学を通して「医学知識」を学び、疾病における臓器、組織、細胞の形態変化についての知識を身につける。細胞、組織、臓器などの形態の変化の観察をもとに、疾病の原因、経過、本態、他の疾病との鑑別、治療効果などについて学び、理解を深める。	
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	病理学とは・疾病の一般	
2	1	2	細胞障害(退行性病変、代謝障害) 1	
3	1	2	細胞障害(退行性病変、代謝障害) 2	
4	1	2	循環障害 1	
5	1	2	循環障害 2	
6	1	2	進行性病変(病的増加)と細胞・組織の適応	
7	1	2	炎症	
8	1	2	免疫異常、アレルギー 1	
9	1	2	免疫異常、アレルギー 2	
10	1	2	腫瘍 1	
11	1	2	腫瘍 2	
12	1	2	先天性異常	
13	1	2	病因	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
病理学概論：医歯薬出版				
教員について【実務経験有】				
歯科医師として、歯科医院での実務(臨床)経験を有している。				

2025年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/学部	第2学年/昼
科目名	一般臨床医学		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	理療科教員		使用教室	第2柔整普通教室
教員名	川上 恭		講義形式	講義
学習目標と講義概要	疾病によって引き起こされる「病態生理」を踏まえ、各疾病についての基礎知識を身につけることを目的とする。診察の基礎、生命徴候の測定を理解し、各疾患の概要、病的生理、診断、治療、予後について学び、理解を深める。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	診察概論・各論 医療面接・視診	
2	1	2	打診・聴診	
3	1	2	触診・生命徴候	
4	1	2	感覚検査・反射検査	
5	1	2	代表的な臨床症状 1	
6	1	2	代表的な臨床症状 2	
7	1	2	検査法 生命徴候の測定・生理機能検査・検体検査・運動機能検査	
8	1	2	主要な疾患 呼吸器疾患 1	
9	1	2	呼吸器疾患 2	
10	1	2	循環器疾患 1	
11	1	2	循環器疾患 2	
12	1	2	消化器疾患 1	
13	1	2	消化器疾患 2	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
評価方法				
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)				
教科書				
一般臨床医学:医歯薬出版				
教員について【実務経験有】				
理療科教員資格を有し、治療院での実務(臨床)経験において現場で得た知識経験等を活かし授業を行う。				

2025年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/学部	第2学年/昼
科目名	外科学概論		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	理療科教員		使用教室	第2柔整普通教室
教員名	川上 恭		講義形式	講義
学習目標と講義概要	外科学の基礎知識、日常の臨床の場において遭遇しやすい外科疾患について理解することを目的とする。外科学総論を学び、臨床現場で使用できるような基本知識と実用的な内容について説明出来る。外科学各論で脳神経外科疾患、呼吸器疾患、循環器系疾患、乳腺疾患、腹部外科疾患について学び、外科的知識を身につけ、患者に対して適切な説明ができるようになる。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	損傷	
2	1	2	炎症と外科感染症	
3	1	2	腫瘍	
4	1	2	ショック・輸血・輸液	
5	1	2	消毒と滅菌・手術	
6	1	2	麻酔・移植と免疫	
7	1	2	出血と止血	
8	1	2	心肺蘇生法	
9	1	2	脳神経外科疾患	
10	1	2	甲状腺、頸部疾患・胸壁、呼吸器疾患	
11	1	2	心臓・脈管疾患	
12	1	2	乳腺疾患	
13	1	2	腹部外科疾患	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
外科学概論:南江堂				
教員について【実務経験有】				
理療科教員資格を有し、治療院での実務(臨床)経験において現場で得た知識経験等を活かし授業を行う。				

2025年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/学部	第2学年/昼
科目名	整形外科学		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	理療科教員		使用教室	第2柔整普通教室
教員名	佐藤 卓弥		講義形式	講義
学習目標と講義概要	運動器の医学である整形外科学で、医療人として必要となる知識をさらに身につけることを目的とする。運動器の基礎知識についての理解を深め、整形外科診察法、整形外科検査法、整形外科治療法を学び、臨床現場で生かせる知識を習得する。運動器の身体各部位別疾患について学び、疾患概念、症状、治療についての説明ができるようになる。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	運動器の基礎知識・整形外科診察法	
2	1	2	整形外科検査法・整形外科的治療法	
3	1	2	骨・関節損傷総論	
4	1	2	スポーツ整形外科総論・リハビリテーション総論	
5	1	2	疾患別各論 1	
6	1	2	疾患別各論 2	
7	1	2	疾患別各論 3	
8	1	2	疾患別各論 4	
9	1	2	疾患別各論 5	
10	1	2	疾患別各論 6	
11	1	2	疾患別各論 7	
12	1	2	身体各部位別各論 1	
13	1	2	身体各部位別各論 2	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
1) 単位認定試験 2) 出席状況(3分の2以上の出席)				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
整形外科学:南江堂				
教員について				
他大学教育機関等での研究教育活動及び医療系専門学校での教育経験を活かし授業を行う。				

2025年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/学部	第2学年/昼
科目名	リハビリテーション学		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	理療科教員		使用教室	第2柔整普通教室
教員名	林 健太郎		講義形式	講義
学習目標と講義概要	患者の持つあらゆる障害に対し、総合的に対処できるリハビリテーションの知識を身に付けることを目的とする。リハビリテーションの意義をしっかりと理解したうえで、患者に適切なリハビリテーションの知識を習得する。リハビリテーションの評価と診断を学び、患者のもつ障害を判断できるようになる。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	・リハビリテーションの概念と歴史 ・リハビリテーション医学	
2	1	2	・リハビリテーション医学の基礎医学1	
3	1	2	・リハビリテーション医学の基礎医学2	
4	1	2	・リハビリテーション医学の評価と診断1	
5	1	2	・リハビリテーション医学の評価と診断2	
6	1	2	・リハビリテーションの治療1	
7	1	2	・リハビリテーションの治療2	
8	1	2	・リハビリテーションの治療3	
9	1	2	・リハビリテーション医学と関連職種 ・リハビリテーションの実際1	
10	1	2	・リハビリテーションの実際2	
11	1	2	・リハビリテーションの実際3	
12	1	2	・リハビリテーションの実際4	
13	1	2	・リハビリテーションと福祉	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
1) 単位認定試験 2) 出席状況(3分の2以上の出席)				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
リハビリテーション医学:南江堂				
教員について【実務経験有】				
理療科教員資格の他、はり師きゅう師あん摩マッサージ指圧師の資格を有し、大学病院での実務(臨床)経験や、研究員としての経験、理療科教員養成施設や他の医療系専門学校等での講義を担当、現場で得た知識経験等を活かし授業を行う。				

2025年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/学部	第2学年/昼
科目名	衛生学・公衆衛生学		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	歯科医師		使用教室	第2柔整普通教室
教員名	杉山 文枝		講義形式	講義
学習目標と講義概要	医療人として、地域の公衆衛生活動の推進が出来るように、病気予防・健康創造についての知識を身につけることを目的とする。健康の概念を理解したうえで、健康管理・疾病予防、感染症予防、消毒方法について説明できるようになる。各保健についての概要や活動内容、生活環境の改善方法を学び、医療人として社会に貢献できる人材となる。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	衛生学・公衆衛生学の歴史と公衆衛生活動・健康概念	
2	1	2	疾病予防と健康管理・感染症の予防	
3	1	2	消毒・環境衛生(環境保健)	
4	1	2	環境衛生(環境保健) 1	
5	1	2	環境衛生(環境保健) 2	
6	1	2	生活環境・食品衛生活動	
7	1	2	母子保健・学校保健	
8	1	2	学校保健・産業保健	
9	1	2	産業保健	
10	1	2	成人・高齢者保健・精神保健	
11	1	2	精神保健・地域保健と国際保健	
12	1	2	衛生行政と保健医療の制度 1	
13	1	2	衛生行政と保健医療の制度 2	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答・解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
衛生学・公衆衛生学:南江堂				
教員について【実務経験有】				
歯科医師として、歯科医院での実務(臨床)経験を有している。				

2025年度 授業要項

区分			専門基礎分野	履修学年/学部	第2学年/昼
科目名			柔道 II	履修単位/時間	1単位/30時間
教員資格			柔道整復師 専科教員	使用教室	柔道場
教員名			木野田 浩平 、 天和 航平	講義形式	実技
学習目標と講義概要			精力善用、自他共栄の心を持った柔道整復師を育成するべく、心、技、体を鍛えることを目的とする。 柔道の基本的動作をさらに発展し、約束乱取りから乱取り、投げの方を行えるようになる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	受身、形(浮落とし、背負い投げ)、打ち込み、投げ込み、寝技 1		
2	1	2	受身、形(浮落とし、背負い投げ)、打ち込み、投げ込み、寝技 2		
3	1	2	受身、形(背負い投げ、肩車)、打ち込み、投げ込み、寝技 1		
4	1	2	受身、形(背負い投げ、肩車)、打ち込み、投げ込み、寝技 2		
5	1	2	受身、形(浮腰、払い腰)、打ち込み、投げ込み、寝技 1		
6	1	2	受身、形(浮腰、払い腰)、打ち込み、投げ込み、寝技 2		
7	1	2	受身、形(送り足払い、支えつり込み足)、打ち込み、投げ込み、寝技 1		
8	1	2	受身、形(送り足払い、支えつり込み足)、打ち込み、投げ込み、寝技 2		
9	1	2	受身、形(手技)、打ち込み、投げ込み、寝技		
10	1	2	受身、形(腰技)、打ち込み、投げ込み、寝技 1		
11	1	2	受身、形(腰技)、打ち込み、投げ込み、寝技 2		
12	1	2	受身、形(足技)、打ち込み、投げ込み、寝技 1		
13	1	2	受身、形(足技)、打ち込み、投げ込み、寝技 2		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
見学者はレポートを提出すること					
評価方法					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
資料配布					
教員について【実務経験有】					
(木野田先生)柔道整復師免許、柔道整復師専科教員資格を有し、整骨院での現場実務経験、他の学校での教員経験を活かし授業を行う。 (天和先生)柔道参段、整形外科での実務経験が約7年。現場で診させていただいて得た知識・技術を基にして、基礎はもちろんのこと、臨床経験も交えながら、授業を展開します。					